

2026年3月25日
 株式会社七十七銀行
 株式会社東邦銀行
 株式会社山形銀行

七十七銀行・東邦銀行・山形銀行による
「南東北元気プロジェクト」に関する協定の締結について
～地域の持続的な発展に向けた共同プロジェクトが始動～

株式会社七十七銀行（代表取締役頭取 小林 英文）、株式会社東邦銀行（代表取締役頭取 佐藤 稔）および株式会社山形銀行（代表取締役頭取 佐藤 英司）は、「南東北元気プロジェクト」に関する協定（以下、「本協定」）を締結し、南東北の持続的な発展に向けて相互に連携することとしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 本協定の趣旨・目的

本協定は、3行が持つそれぞれの強みを活かし、多様化かつ複雑化する地域課題や事業者のニーズに対応した高品質なサービスを提供するほか、連携して資金供給および事業者支援に取り組むことで、南東北の経済を支える地域金融機関として一段と高いプレゼンスを発揮し、地域の持続的な発展に貢献していくことを目的としています。

2. 本協定の概要

締 結 文 書	南東北元気プロジェクトに関する協定書
協定書締結日	2026年3月25日
連携・協力内容	<p>3行は、共同で実施する「南東北元気プロジェクト」の一環として、次に掲げる事項について連携および協力を行うものとする。なお、各事項の具体的な取組みについては、今後設置する実務者レベルの部会の中で協議していく。</p> <p>(1) 事業者の成長や事業承継・M&A等取引先支援にかかる取組み (2) 海外ビジネスの推進にかかる取組み (3) 観光振興や魅力的な地域コンテンツの創造等による地方創生にかかる取組み (4) 地域における共通課題の深掘りと解決に向けたアイデアの創出にかかる取組み</p> <p>注. 各項目の連携イメージについては、別紙のとおり</p>

3. 3行の概要

名 称	株式会社 七十七銀行
所 在 地	宮城県仙台市青葉区中央三丁目3番20号
代 表 者 名	代表取締役 頭取 小林 英文

名 称	株式会社 東邦銀行
所 在 地	福島県福島市大町3番25号
代 表 者 名	代表取締役 頭取 佐藤 稔

名 称	株式会社 山形銀行
所 在 地	山形県山形市七日町三丁目1番2号
代 表 者 名	代表取締役 頭取 佐藤 英司

4. 「南東北元気プロジェクト」のコンセプト

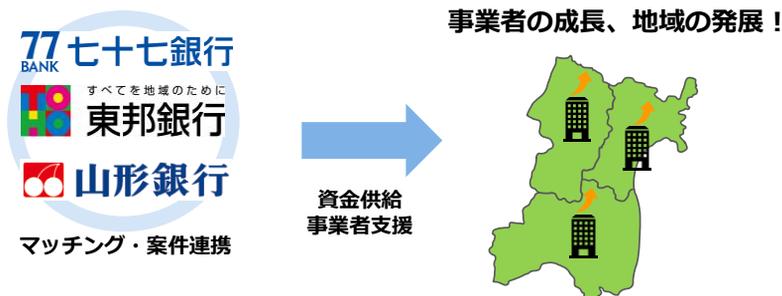


以 上

連携イメージ① 事業者の成長や事業承継・M&A等取引先支援

【連携の目的】

- ・ 3行の知見とネットワークを結集し、地域事業者の持続的な成長や円滑な事業承継に向けた支援のスピードと実効性を高める
- ・ 南東北の発展に向けた資金供給を積極的に行うため、必要な資金量の確保と適切なリスク分散の両立を図る



【想定している施策】

- ・ M&A、事業承継案件の定期的な情報交換を通じた案件連携
- ・ 3行のネットワークや県外拠点を活用した販路開拓支援
- ・ リスクマネーの供給やハンズオンによる事業者の成長支援等を目的とした共同ファンドやシンジケート・ローンの組成

連携イメージ② 海外ビジネスの推進

【連携の目的】

- ・ 3行が有する海外ネットワークや支援ノウハウを相互活用することにより、地域事業者に対する海外ビジネス支援体制を強化する
- ・ 南東北一体で商材の産地育成支援やマーケティングを実施することにより、海外市場に対する発信力や交渉力の向上を図る



【想定している施策】

- ・ 地域産品の輸出拡大に向けた事業者支援や需要家のニーズ調査等の共同実施
- ・ 海外拠点やグループ会社の共同活用による、事業者の海外ビジネス支援の実施
- ・ 海外商談会・展示会への共同出展

連携イメージ③ 観光振興や魅力的な地域コンテンツの創造等による地方創生

【連携の目的】

- ・ 各地域に分散する魅力的なコンテンツを一体的にプロモーションすることで、南東北の発信力を高め、交流人口・関係人口の増加を目指す
- ・ 3行が協力して新たなコンテンツの創造や既存コンテンツの磨き上げを行うことで、南東北の更なる魅力向上を図る



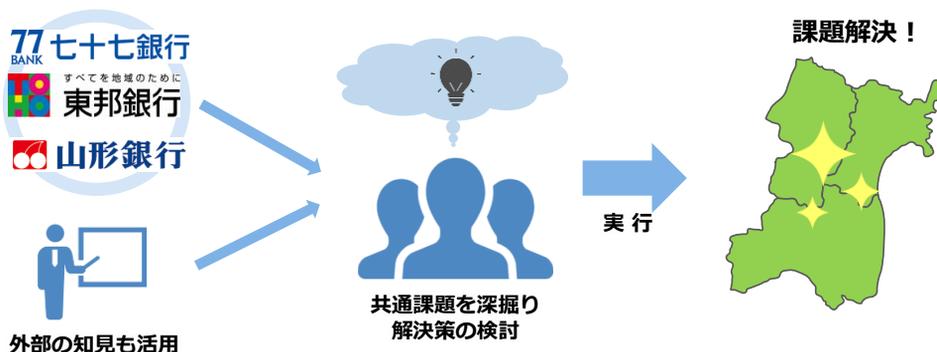
【想定している施策】

- ・ 3行共同による観光商品の企画・販売やイベント等の実施
- ・ 海外プロモーションの共同実施によるインバウンド誘致
- ・ 3行のリソースやネットワークを活用した観光関連事業者の支援

連携イメージ④ 地域における共通課題の深掘りと解決に向けたアイデアの創出

【連携の目的】

- ・ 多様な視点と知見を掛け合わせ、課題の本質を捉えた解決策を創出する
- ・ 本プロジェクトを起点として、南東北全体へと波及する社会課題解決に向けた新たな動きを生み出していく



【想定している施策】

- ・ 3行共同により特定の社会課題をテーマとして課題の深掘りと解決策の検討を行うワーキンググループ「みらい共創ラボ」を設置
- ・ 異業種や専門家等の外部知見も取り入れながら要因を深掘りするとともに、解決に向けたアイデアの創出および実行を図る